

令和2年9月25日

九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

記者発表資料

河川流域全体のあらゆる関係者が協働し「流域治水」への転換
～「大淀川水系流域治水協議会」「小丸川水系流域治水協議会」を設置・開催～

近年、気候変動の影響等により災害の頻発化・激甚化が懸念される中、国民の皆様の命と暮らしを守るためには、抜本的かつ総合的な防災・減災対策が必要です。

国土交通省では、総力を挙げて、抜本的かつ総合的な対策を確立するため、新たに「総力戦で挑む防災・減災プロジェクト～いのちと暮らしをまもる防災減災～」を立ち上げました。

今後の水災害リスクの増大に備えるために、これまでの治水対策に加え、流域全体のあらゆる関係者が協働し、水害を軽減させる治水対策「流域治水」へ転換し「流域治水プロジェクト」として示し、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速していくことが必要です。

大淀川水系、小丸川水系においても、「流域治水」を進めるため「大淀川水系流域治水協議会」「小丸川水系流域治水協議会」を設置、開催します。

1. 日 時：令和2年9月28日（月）
11:00～12:00 「大淀川水系流域治水協議会」
13:30～14:30 「小丸川水系流域治水協議会」
2. 場 所：国土交通省宮崎河川国道事務所 別館3階会議室
3. その他：関係機関および取材については、別紙のとおり

（問い合わせ先）

国土交通省 宮崎河川国道事務所 技術副所長 岩崎 征弘（いわさきゆきひろ）
調査第一課長 上水樽 昌幸（かみみずたる まさゆき）

〒880-8523 宮崎市大工2丁目39番地

電話：0985-24-8221（代表）0985-24-8505（調査第一課直通）

【別紙】

○出席予定

【大淀川水系流域治水協議会】

宮崎地方气象台、宮崎県、鹿児島県、宮崎市、都城市、小林市、曾於市、三股町、高原町、国富町、綾町、宮崎河川国道事務所

【小丸川水系流域治水協議会】

宮崎地方气象台、宮崎県、高鍋町、木城町、川南町 宮崎河川国道事務所

【アドバイザー】

宮崎大学名誉教授 杉尾 哲

○取材について

- ・協議会は報道関係者を対象に公開となります。
- ・取材を希望される場合は当日受付を行っていただきます。
- ・会場へはマスク着用の上、入り口に消毒液を設置しますので手指消毒を行い入場してください。

【参考添付】

全国の各河川で「流域治水プロジェクト」を公表

◆全国の一級水系において、河川対策、流域対策、ソフト対策からなる流域治水の全体像をとりまとめ、わかりやすく提示

◆戦後最大洪水に対応する国管理河川の対策の必要性・効果・実施内容等をベースに、プロジェクトを策定し、ハード・ソフト一体の事前防災を加速

【イメージ】〇〇川流域治水プロジェクト

